

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：TEL 03-3541-5151 (代表)

担当者の所属・氏名 呼吸器内科 北村 淳史

【研究責任者】

聖路加国際病院 呼吸器内科 北村 淳史

胸部悪性腫瘍疑いで気管支鏡を実施した方を対象とした研究

1. 研究の対象

- ・2014年4月から2018年12月までに当院で胸部悪性腫瘍を疑われ気管支鏡を実施した方

2. 研究の目的・方法

胸部悪性腫瘍を疑って気管支鏡を実施する際に、病変部まで気管支が到達していないため、気管支鏡検査中に病変部位に気管支鏡が届かず、目的の検体採取ができない患者さんがいらっしゃいます。そこで、我々は胸部CTのデータを使用しパソコンソフトにて、病変部まで気管支が到達しているか否かを評価し、その結果から実際の検査で検体採取・病理診断にいたるかどうかの予測が可能か検討することになりました。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長の実施許可後～2023年12月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

氏名、カルテID、年齢

《情報》 検査実施日、気管支鏡直近のCT造影ありなし、CTスライス厚、性別、病変の場所、区域、大きさ、病変の性状、内視鏡診断 等

4. 研究組織

- ・聖路加国際病院 呼吸器内科 北村 淳史